

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	-	(H.24)No.	4120
-----------	---	-----------	------

事務事業名		共同利用施設整備事業	
担当部局名		担当室名	室長名
産業部		農林資源室	西森 平太郎
連絡先		63-7625	
新・継	事業期間		根拠法令等
新規	平成	24年度～平成24年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	☐ 補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3 新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	1 農村環境整備
	小施策	1 魅力ある農業づくり
	重点施策コード	

2. 予算区分

会計区分		事業コード	303301
一般会計		(中事業名) ※予算書事業名	
款	農林水産業費	共同利用施設整備事業	
項	農業費	(小事業名)	
目	農林振興費	共同利用施設整備事業	

3. 事務事業の概要

事業内容		効果(事業目的)
「強い農業づくり交付金」において、平成24年3月の国の4次補正で制度決定された本事業(国は平成23年度予算繰越、県は平成24年度予算として予算化)を活用し、高品質な「伊賀米」の生産出荷が持続的に確保されるよう「共同利用施設」であるカントリーエレベータ(上小波田3029)に、玄米に混じる不良米や異物を検知し除去する「色彩選別機」の導入により伊賀米の品質向上を図るため、今年の収穫期(9月)までに伊賀南部農業共同組合(JA伊賀南部)が設置する。		「色彩選別機」を導入し、伊賀米の更なる品質向上を図ることにより、伊賀米の生産出荷が持続的に確保される。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	☐ 市が直接実施	☐ 業務委託(全部・一部)により実施	☐ 指定管理
主な事業の実績・計画			☐ 補助金・交付金		
			☐ その他()		
		・共同利用施設整備事業 (JA伊賀南部カントリーエレベータ:色彩選別機導入) 全体事業費52,500千円 (補助金25,000千円・JA負担額27,500千円)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
①直接事業費		25,000千円			
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金		25,000			
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 0	0	0	0	0
人工数		0.04人			
職員					
臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 0千円	292千円	0千円	0千円	0千円
①+②総事業費	(0千円) 0千円	25,292千円	0千円	0千円	0千円

※概算人件費②は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
※平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
※特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。
※平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名			単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	色彩選別機の導入	台	-	-	-	-	1
	実績			-	-	-	-	-
	目標							
	実績							
	目標							
	実績							

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	→	今後の対応方針
伊賀米の更なる品質向上のため、「色彩選別機」の導入が必要となった。		安全安心！伊賀米産地システムの実践による継続的改善を図るとともに、品質衛生管理意識の醸成を推進する。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
日本穀物検定協会が実施している食味官能試験による「全国食味ランキング特A」の評価を得た。	消費者の声(マーケット情報)を産地改革にフィードバックさせ、消費者視点に沿った産地作りを進める。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢①・②の場合) ※(4)は①の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] ①できる ②検討余地がある ③できない ③できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] ①できる ②検討余地がある ③できない ③できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] ①できる ②検討余地がある ③できない ③できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ①ある ②ない ②ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] ①反映済み ②反映を予定 ③反映予定なし(該当しない) ③反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] ①できる ②検討余地がある ③できない ③できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] ①継続(事務改善) ②継続(現行) ③継続(拡大) ④休止・廃止検討 ⑤事業完了(完了予定含む)

⑤事業完了(完了予定含む)

※「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項